

○持続可能な滋賀社会を実現するために

「持続可能社会システムに関する政策課題研究」

コーディネーター: 金 再奎

2007年に策定した「持続可能な滋賀ビジョン」の具体化に向け、滋賀の持続可能な社会への転換につながる有効な方策、政策手法パッケージを提案します。

具体的には、県民意識調査を基に、県民が将来望む社会の方向性を考え、その社会を支える技術や産業、都市・交通システムなどを具体的な地域を対象として研究します。

そして、その社会を実現するための課題を整理し、有効な取り組みを県内全域に拡大する方策を提案します。

研究の概要

厳しい資源・環境の制約のなかで、いま世界中の各地域が持続可能な社会を求めて動きつつあります。

2007年、滋賀県では全国に先駆けて、2030年における環境目標を達成するための「持続可能な滋賀ビジョン」を策定しました。

そこには、2030年時点の滋賀の人々の生活スタイルやそれを支える社会基盤システム、そして環境目標を達成するために必要な対策群を明記しています。

これからは、そのビジョンを地域レベルで実現するための経済や法制度などの政策手段を検討し、その期待される効果や実行に移すための課題に関する研究が必要となります。

ここでは、滋賀の持続可能な社会への転換につながる有効な対策、政策手段のパッケージを提案することを目指しています。

